

大会実行委員会企画

基調講演&シンポジウム（講堂）22日（土）15:15～17:45

ご挨拶

日本音楽教育学会会長 加藤 富美子
奈良教育大学学長 長 友 恒 人
第42回大会実行委員長 安 田 寛

基調講演

音楽における東西の異文化交流 2000年
—平成の天平文化—

講師：比較文学比較文化／東京大学准教授 Hermann Gottschewski

シンポジウム

奈良から平成の^{異文化交流}天平文化を探る

シンポジスト：豊山派声明／真言宗豊山派金蔵院住職 孤 嶋 由 昌
鍵盤ハーモニカ奏者・作曲家・編曲家 松 田 昌
音楽教育／韓国济州大学教授 趙 泳 培

コメンテーター： Hermann Gottschewski
企画・司会： 音楽教育／帝塚山大学教授 村尾忠廣

常任理事会企画

プロジェクト研究Ⅰ（講堂）23日（日）15:15～16:45

音楽と言葉をめぐってⅡ

パネリスト： 北海道大学 安達真由美
ピアニスト 河野美砂子
神戸大学 若尾 裕
コーディネーター： 弘前大学 今田 匡彦

プロジェクト研究Ⅱ（102）22日（土）13:30～15:00

音楽教育研究におけるルールとは(1)
—個人情報保護を中心とした学習会—

講演者： 首都大学東京 徳本 広 孝
企画代表者： 東京藝術大学 遠山 文 吉
報告者： 聖心女子大学 今川 恭 子
広島大学 権藤 敦 子
首都大学東京 西 島 央

研 究 発 表

研究発表A (201) 22日(土) 9:30~12:30

司会 下道郁子 (東京音楽大学)・原田博之 (宮城教育大学)

- A-1 イギリスにおける GCE 音楽に関する研究
—試験シラバス, 試験問題, 試験官報告書の検討を通して—
広島大学大学院学生 松下友紀
- 2 教育者としての堀内敬三
—大衆に向けた洋楽普及を中心に—
東京芸術大学 村井沙千子
- 3 近代日本の音楽鑑賞概念の研究 1
—〈音楽を聴くこと〉における「趣味」の意味とその背景—
北海道教育大学札幌校 寺田貴雄
- 4 創造的な行為としての「わかる」とそこで生成されるもの
—音楽における理論的側面の指導に向けて—
東京未来大学 森 薫
- 5 戦後の音楽教科書におけるベートーヴェン像
東京理科大学 松村洋一郎
- 6 明治前半期における雅楽専門家養成制度
—明治20年の雅楽生カリキュラム成立過程—
東京学芸大学大学院研究生 塚原健太

研究発表B (203) 22日(土) 9:30~12:30

司会 鈴木慎一郎 (白梅学園短期大学)・藤井浩基 (島根大学)

- B-1 戦前の唱歌と戦後の「生活の歌」との連続性
帝塚山大学 長尾智絵
- 2 明治30年代における言文一致唱歌の興隆による作詞家への影響
—旗野十一郎の作詞作品を中心として—
名古屋大学大学院学生 浅野麻衣
- 3 Davies の音楽教育観
—A Four Years' Course of Music (1933) の検討を通して—
広島大学大学院学生 小林美貴子
- 4 読譜指導における「音楽語り」学習の意義に関する一考察
淑徳短期大学 長谷川恭子
- 5 F.イエーデの青少年音楽運動における音楽教育
—Th. W.アドルノによる批判の検討をとおして—
京都大学大学院院生, 日本学術振興会特別研究員 小山英恵
- 6 ドイツ 移民のための音楽教育から多文化音楽教育へ
—1960年以降の変遷—
浜松学芸高等学校 宮本賢二郎

研究発表C (204) 22日(土) 9:30~12:30

司会 安達真由美(北海道大学)・村上康子(共立女子大学)

C-1 赤ちゃんの”musicality”を考える

—乳児保育の視座から—

金城学院大学 南 曜 子

- 2 幼児語と大人語のリズム,その歌への適用について
—撥音・促音・長音・反復語の頻度を中心にして—

東海学園大学 夏 目 佳 子

- 3 音楽的音声表現能力を高めるマザリーズプログラム
—赤ちゃん塾実践報告1—

ロンドン大学博士課程学生 疇 地 希 美

愛知教育大学 嶋 田 ひ ろ み・愛知文教女子短期大学 児 玉 た ま み

- 4 言語獲得期の音声のリズムとその変化

甲南女子大学 坂 井 康 子・京都女子大学 岡 林 典 子

- 5 NIRSを用いた読譜と聴覚中心のピアノ学習過程における脳活動比較

東京学芸大学大学院研究生 垣 浪 文 美 香・木更津工業高等専門学校 栗 本 育 三 郎

長岡技術科学大学 中 川 匡 弘・東京学芸大学 筒 石 賢 昭

- 6 中学校音楽鑑賞における諸要素と感情的性格との関連づけ

—特定感情を表現した複数演奏の比較聴取の効果—

北海道教育大学 吉 野 巖

札幌市真駒内中学校 萬 司・北海道教育大学 内 田 輝

研究発表D (205) 22日(土) 9:30~12:30

司会 石出和也(弘前大学)・佐野靖(東京藝術大学)

D-1 合唱活動を通じた生徒の集団的意識の変容

—中学校音楽科授業における観察を通して—

星美学園中学校高等学校 三 瓶 啓 子

- 2 自己の内面を表現することに主軸をおいた音楽科授業実践

—「ことば遊び」の活動を通して—

兵庫教育大学連合大学院学生 西 沢 久 実

- 3 教師との協働による合唱活動の構想と展開

—「かかわりを開く力」を育てる—

東京藝術大学大学院学生 市 川 恵

- 4 音楽科と道徳が相互に効果を高め合う授業の一試論

—「構え」の形成による感性の育成をめざして—

山口県周南市立富田東小学校 河 村 仁 美・山口大学 高 橋 雅 子

- 5 歌唱活動におけるコミュニティの構成要素の検討

—暁星小学校聖歌隊の活動の分析を通して—

東京藝術大学大学院生 三 橋 さ ゆ り

- 6 学校音楽を「教える」と「学ぶ」ことの諸相

—音楽教育研究において潜在的カリキュラム研究とは何か(7)—

立命館大学 笹 野 恵 理 子

研究発表E (206) 22日(土) 9:30~12:30

司会 岡部芳広(相模女子大学)・菅裕(宮崎大学)

- E-1 鑑賞教材を生かしたメロディーづくりの段階的指導法
新潟市立五十嵐小学校 中村 香
- 2 声による創作活動の可能性の探究
—日本の伝統音楽の特性を生かして—
北海道教育大学 尾藤 弥生
- 3 音楽創作活動における「創造性」とは
—保育士・幼稚園教諭・小学校教諭への質問紙調査—
愛知教育大学 国府 華子・就実大学 古山 典子
- 4 アメリカの音楽科教科書 Silver Burdett Making Music (2008) における鑑賞活動
—Timbre を主な学習要素とするレッスンに着目して—
広島大学大学院学生 栗木 陽子
- 5 中等教育における総合表現活動の成果と課題
—ミュージカル制作15年の取り組みから—
上越教育大学 時得 紀子・上越教育大学附属中学校 遠藤 好子
- 6 音楽科教育における即興演奏
—「創造的音楽学習」(CMM) から発展した新たな実践方法を目指して—
東京学芸大学連合大学院学生(横浜国立大学配属) 田中 路

研究発表F (208) 22日(土) 9:30~12:30

司会 木間英子(昭和女子大学)・谷正人(神戸学院大学)

- F-1 昔話語法の音楽理論への導入の試論
—小澤俊夫『昔話の語法』をもとにして—
立教学院立教小学校 長畑 俊道
- 2 子どもの歌の楽譜に関する一考察
—幼稚園・小学校における指導上の問題点 ~『七つの子』を例として—
常磐大学 岡部 玲子
- 3 ルビ法による漢字仮名交じりの楽譜の考案と提案
—『唱歌・童謡・わらべ唄の伴奏和声』の出版と伝統仏教教団の儀礼に際しての試み—
帝塚山大学 村尾 忠廣・本願寺仏教音楽・儀礼研究所 福本 康之
- 4 幼児教育専攻学生のための視唱指導
—聴くこと、イメージすることを重視して—
吉田 直子
- 5 保育者養成大学における和声学指導の効果
—コード及びコード進行の理解を深めるために—
浜松学院大学 高久 新吾
- 6 プログレッシヴ聴音課題集における臨時記号の研究
—ノエル・ギャロンの聴音課題集の分析から—
東京女子体育大学 柳田 憲一

研究発表G (209) 22日(土) 9:30~12:30

司会 伊藤真(広島大学)・小畑千尋(宮城教育大学)

- G-1 アメリカにおける音楽的能力評価方法の特徴
—1997年の全米学力調査(NAEP)音楽試験の検討を通して—
広島大学大学院学生 酒井勇也
- 2 イタリアの音楽テアトロ教育の理論と実践
横浜国立大学 中嶋俊夫
- 3 スイス・フランス語圏の学校音楽教育 その1
—聴取能力と評論の精神の育成に着目して—
鹿児島大学 今由佳里
- 4 現代イタリアの中学校音楽科教育の特徴
—教科書の分析を中心に—
広島大学大学院教育学研究科博士課程後期 大野内 愛
- 5 パリ市の小学生のための「音楽アニメーション」
—バシエ音響構造(Structures sonores BASCHET)の教育的意義と実践—
愛知教育大学 吉澤恭子
- 6 オルティンドーの教授方法について
—内モンゴルの音楽大学における調査を通して—
東京学芸大学大学院連合学校教育研究科 策力格尔

研究発表H (306) 22日(土) 9:30~12:30

司会 志民一成(静岡大学)・深見友紀子(京都女子大学)

- H-1 韓国におけるC.オルフの幼児音楽教育研究の動向
—『幼稚園教育課程』との関連に着目して—
奈良女子大学大学院博士後期課程 河 允 熙
- 2 イングランドの中等学校音楽科における個別の生徒への支援の概念
—教員養成課程における学生の実践力育成の観点として—
武庫川女子大学 小松原祥子
- 3 西アフリカの太鼓ジェンベ djembe の伝承方法と日本の学校教育への応用
兵庫教育大学大学院連合学校博士課程学生 武 鐘 夏 美
- 4 英国の幼児・児童音楽における Circle time と classroom music
—KS1の子どもへの音楽的達成感とその意義—
東北福祉大学 鈴木 敦 子
- 5 ハンドベル演奏の研究Ⅲ
—ハンドベル教育の今後—
金城学院大学 磯 部 澄 葉・金城学院大学 南 曜 子
- 6 ハンガリーのピアノ教育の発展Ⅱ
—絵画、建築、数学などを総合し即興を重視するハンガリーのピアノ教科書(アパジ・マーリア著『ピアノの夢—創造的なピアノ学習』全3巻の意義—
帝京平成大学 降 矢 美 彌 子・宮城教育大学 岩 淵 撰 子

研究発表 I (201) 23 日 (日) 9:00~12:30

司会 寺田貴雄 (北海道教育大学)・中山裕一郎 (信州大学)

- I-1 歌唱に対する児童の意識調査
—内的フィードバックとの関連を中心に—
宮城教育大学 小畑千尋
- 2 合唱活動における変声期男子のパート分けに関する研究
—Cambiata Concept の声の分類を適用して—
山口大学 高橋雅子
- 3 小学校歌唱指導における頭声発声の推移
—「裏声」に着目して戦後から現在まで—
東京藝術大学大学院研究生 高嶋道夫
- 4 音声解析を用いた変声期の歌唱指導
—変声期の特定と混合発声による歌唱指導の有用性について—
愛媛大学 木村勢津
- 5 『歌の歌い方は今の認識のままで良いのか』
—宝生流の謡から見えること—
美作大学短期大学部 木暮朋佳
- 6 豊かな音楽性と歌唱力を培う日本の伝統的な歌の指導
—公立小中学校の指導実践を通して—
東京都渋谷区立本町東小学校 山内雅子
- 7 音楽科における合唱指導の一考察
—ハーモニー感覚の育成を目指した実践報告—
千葉大学大学院教育学研究科研究生 戸谷登貴子

研究発表 J (203) 23 日 (日) 9:00~12:30

司会 菅道子 (和歌山大学)・関口博子 (同朋大学)

- J-1 イエールセミナー (1963) の再評価とアメリカにおけるその受容
広島大学大学院 長谷川 諒
- 2 19 世紀のボストンにおける学校音楽教育成立期の唱歌教授の実践
—ロウエル・メーソンの Musical Exercises for Singing Schools(1838) の分析を通して—
鳴門教育大学 長島真人
- 3 音楽科における外言化の問題とは
—ヴィゴツキーの内言論に着目して—
東京学芸大学大学院学生 松本哲平
- 4 「音楽的思考」の言語分析の試み
—「言語活動の充実」との関わりに重点をおいて—
植草学園大学 高木夏奈子
- 5 徳島県教育會の義太夫調査にみられる通俗教育に関する見解
—『徳島県教育會雑誌臨時増刊社会教育號(一名義太夫號) (1913) を中心に—
兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科学生 川北雅子
- 6 明治 20 年代前半の東京音楽学校における音楽専門教育
—専修部学生、岩原愛に着目して—
東京藝術大学大学院学生 丸山 彩
- 7 白井規矩郎の唱歌遊戯教育観
—明治期における白井規矩郎の著作の分析を通して—
広島大学大学院学生 堀江 遥

研究発表K (204) 23日(日) 9:00~12:30

司会 疇地希美(ロンドン大学博士課程)・塩原麻里(国立音楽大学)

- K-1 音楽的表現育成プログラムにおける「音への気づき」の活動の展開
—3年間の実践過程の事例考察を通して—
大阪樟蔭女子大学 佐野美奈
- 2 子どもの音楽活動における応答的な即興音楽ゲームの有効性
—音楽ゲームに関わる文献などの比較分析をもとにして—
和洋女子大学 駒久美子
- 3 幼児の総合的表現活動の可能性
—保育者のモデル性に着目して—
日本女子大学大学院生 永岡和香子
- 4 音楽から絵本へ、絵本から音楽へ
—『すっすっはっはっ こ・きゅ・う』とともに呼吸しよう、声を出そう—
立教女学院短期大学 長野麻子
- 5 「ぼくたち、わたしたちの『かえるの歌』」
—歌を描いて人に伝える幼児の実践(小学生の実践との比較)を通して—
東京福祉大学 持田京子
- 6 幼児のごっこ遊び場面における歌の機能
—見立てと変換の共有に着目して—
静岡大学 石川眞佐江
- 7 保育園・幼稚園の保育者の音楽活動に対する意識比較
—職保育者、保育職経験者に対するインタビュー調査から—
山口芸術短期大学 山本奈帆子

研究発表L (205) 23日(日) 9:00~12:30

司会 阪井恵(明星大学)・三村真弓(広島大学)

- L-1 大学生が考える音楽教師観
—自由記述アンケートを中心に—
上野学園大学 瀧川淳・就実大学 古山典子
- 2 新卒2年目の教員の育成法の研究
—公立小学校普通学級の音楽専科の場合—
品川区立後地小学校 平田千秋
- 3 音楽科授業における教師の思考研究の意義と展望
—Donald Schönの「反省的实践家」理論を手がかりとして—
湊川短期大学, 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究生 高見仁志
- 4 音楽科教育実習の現況と課題
—教育実習“振り返りシート”からの考察—
尚美学園大学 宮本憲二
- 5 教員養成課程における実技教科指導内容の検証
—卒業生からのフィードバックによる—
名古屋女子大学 小林田鶴子・名古屋女子大学 伊藤充子・名古屋女子大学 佐地多美
- 6 音楽の授業における特別な支援を要する子どもに対する配慮や支援についての一考察
川崎市立下河原小学校, 早稲田大学大学院生 池田康子
- 7 音楽学習における「ほぐし」についての研究(3)
—学校音楽における実践を通して—
鹿児島大学 日吉武

研究発表M (206) 23日(日) 9:00~12:30

司会 権藤敦子(広島大学)・吉澤恭子(愛知教育大学)

- M-1 中学校音楽科における鑑賞共通教材の指導法に関する研究
—『音楽鑑賞教育』(1970.10~1998.12)を中心として—
広島市立伴中学校 佐藤真実子
- 2 小学校中学年児童にみる音楽鑑賞の熟達化
鳥取大学附属小学校 仙田真帆・鳥取大学 小川容子
- 3 音の羅列から意味のある音の結びつきへの再構築
—表現と鑑賞を一体化させハーモニーを感じ取らせる授業の試み—
愛知教育大学 新山王政和
- 4 「音楽家と一緒に音楽をつくる」授業の開発
—鑑賞中心型・体験型から、創造型の学習へ—
滋賀県大津市立瀬田小学校 石割美紗子
- 5 アウトリーチを子どもの学びにつなげる授業マネジメント
—「ゼロ弾きのゴーシュ」の鑑賞を小学校1年生の学びの中に位置づけた実践—
東京学芸大学附属世田谷小学校, 東京学芸大学大学院生 齊藤 豊
- 6 学校教育で扱っている日本の音楽の性質
—文化人類学文化研究の視点から—
神奈川県葉山町立葉山小学校 畑山美穂子
- 7 ことばと声に着目した日本伝統音楽の指導法と教材開発研究(2)
—長唄《雨の四季》の指導実践をもとに—
千葉大学 本多佐保美・長唄三味線演奏家, 千葉大学 山田美由紀・静岡大学 志民一成

研究発表N (208) 23日(日) 9:00~12:30

司会 後藤丹(上越教育大学)・山本幸正(国立音楽大学)

- N-1 我が国における明治期のピアノ指導法
—教則本と指導者の接点を中心に—
横浜国立大学大学院教育学研究科研究生 大澤 愛
- 2 子どもの歌におけるピアノ伴奏の指導法
—付点音符と3連音符のリズムの習得を目指した一試案—
山口学芸大学 岡崎美夏
- 3 ピアノ演奏において脱力を意識する要因についての研究
—脱力意識尺度の作成の試みと熟達度による比較検討より—
上越教育大学 香曾我部 琢・共栄大学 木村貴紀
- 4 ピアノ打鍵の同音反復学習
—練習用補助器具導入について—
高田短期大学 星合智美・三重大学 高瀬瑛子・三重大学 八木規夫
- 5 子どもの歌のピアノ演奏における運指指導の取り組み
—「ミソラド=1235ポジション」の実践を通して—
東京女子体育短期大学 三好優美子
- 6 電子打楽器の教育的可能性を探る
—特別授業における実践活用をもとに—
電子打楽器奏者 鈴木正樹
- 7 電子楽器の活用と音色の意義について考える
—その場に無い楽器をイメージする教育的効果について—
voix claire 音楽教室 内藤郁子

研究発表〇 (209) 23日(日) 9:00~12:30

司会 伊野義博(新潟大学)・永岡都(昭和女子大学)

- 〇-1 音楽教育と療法の関連性 音楽教育と療法の関連性
音楽療法士, 永生病院 新井 幹
- 2 身近な音景色から現代社会を考える
—高校生は音の観察から世の中をどう捉えるのか—
きのくに国際高等専修学校 丸山 晶子
- 3 退け、暗き影「自己表現」よ!
—非・音楽へと向かうスパイラルを断ち切るために—
横浜国立大学 小川 昌文
- 4 初心者のためのヴァイオリン奏法習得に向けての手順と方法
—2年間の授業実践記録に基づく成果と課題—
埼玉大学 伊藤 誠
- 5 吹奏楽, 独奏器楽, 声楽指導における熟練指導者の指導方略
宮崎大学 菅 裕
- 6 能の体験稽古の意義と課題
—教員養成課程における事例分析を中心に—
北海道教育大学釧路校 中西 紗織
- 7 尺八の音楽表現としての身体表現
—メリ、カリの奏法を中心として—
東京学芸大学, 都山流 筒石 賢昭 山

共同企画

共同企画Ⅰ ラウンドテーブルとデモンストレーション(講堂) 22日(土) 13:30~15:00

人間教育としての音楽教育Ⅰ

—アパジ・マーリアのピアノ教育の理念と方法、ドイツの音楽教育との関連において—

企画者・話題提供者:

帝京平成大学 降矢 美彌子

話題提供者: バルトーク・ベーラ音楽高校 アーブラハム・マリアンヌ

浜松学芸高校 宮本 賢二郎

京都大学大学院生 小山 英恵

共同企画Ⅱ ラウンドテーブル(101) 23日(日) 13:30~15:00

宣教化と脱宣教化

—今日の音楽教育の基本問題に関わる歴史的経緯について—

司会者: 島根大学 藤井 浩基

話題提供者: ハワイ大学 Jane Moulin

ハワイ大学大学院 Chadwick Pang

ヴィクトリア大学 Brian Dietrich

アメリカンサモアコミュニティカレッジ Kuki Tuiasosopo

韓国国立韓国芸術総合大学 関 庚燦

企画及び話題提供: 奈良教育大学 安田 寛

共同企画Ⅲ ラウンドテーブル (102) 23日(日) 13:30~15:00

科学が拓く音楽教育研究の可能性

企画・司会・話題提供者： 信州大学 齊 藤 忠 彦
指定討論者： 明治学院大学 水 戸 博 道
話題提供者： 相愛大学 橋 田 光 代
大阪大学大学院医学系研究科研究補助員 大 澤 智 恵
大阪大学大学院医学系研究科博士後期課程 平 野 剛

共同企画Ⅳ ワークショップとディスカッション (308) 23日(日) 13:30~15:00

聴く・ふれる・声でかかわる・文化と出会う

—幼児の経験と芸術表現とを結ぶ実践の検討—

企画・進行： 聖心女子大学 今 川 恭 子
企画・ファシリテーター： 静岡大学 志 民 一 成
共立女子大学 村 上 康 子
静岡大学 石 川 眞 佐 江
東京藝術大学 長 谷 川 慎
桜美林大学 木 村 充 子
東京藝術大学 大 沼 覚 子
東京藝術大学大学院生 鹿 倉 由 衣
東京藝術大学大学院生 小 佐 川 心 子

共同企画Ⅴ パネルディスカッション[実行委員会企画] (講堂) 23日(日) 13:30~15:00

地域文化と子どもたち

—奈良を事例に—

企画・司会： 大阪芸術大学 奥 忍
情報提供者： 奈良教育大学 加 藤 久 雄
フリーランサー 木 村 正 美
和歌山大学附属小学校 江 田 司

共同企画Ⅵ パネルディスカッション (101) 23日(日) 15:15~16:45

即興演奏と音楽科教育

—改めてその意義を問う—

企画・司会： 横浜国立大学 小 川 昌 文
パネリスト： 東京学芸大学 中 地 雅 之
東京学芸大学連合大学院 田 中 路
横浜国立大学 有 元 典 文
横浜国立大学 中 川 克 志